関舞協 女性部会

アンケート
集計結果報告

生理痛体験セミナー

調査期間: 2026年3月11日 ~ 3月26日
調査方法: ウェブアンケート

アンケート概要

セミナー参加後の満足度・理解度に関する調査

調査期間: 2026年3月11日 ~ 3月26日

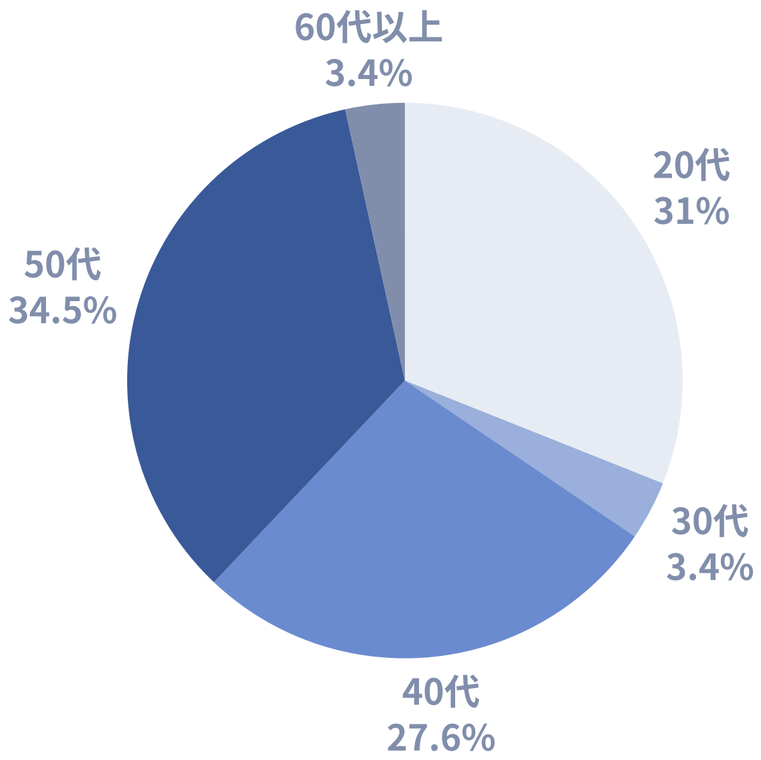
調査方法: ウェブアンケート

調査対象人数: 47人（回答数29人/回収率61%）

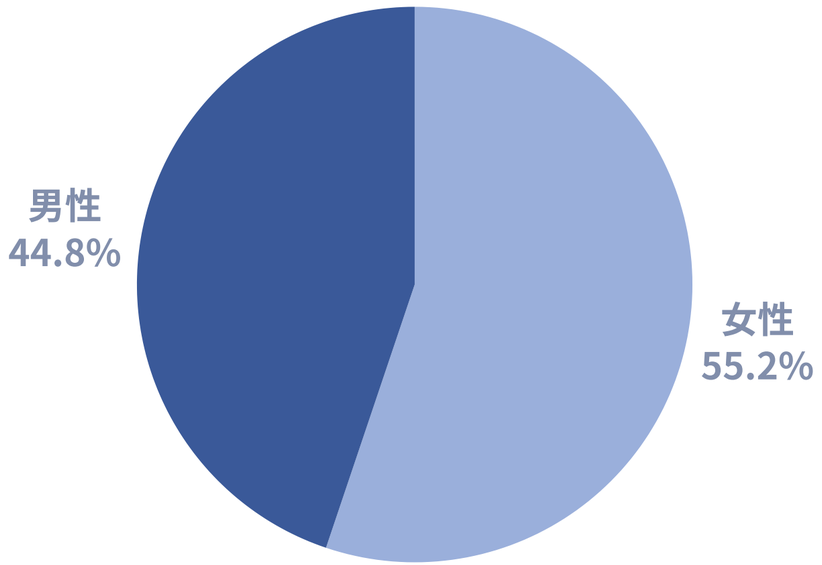
目的: セミナー受講後の満足度・理解度の調査と、参加者の意識変化の状況の把握を目的とする

属性 (性別 / 年齢)

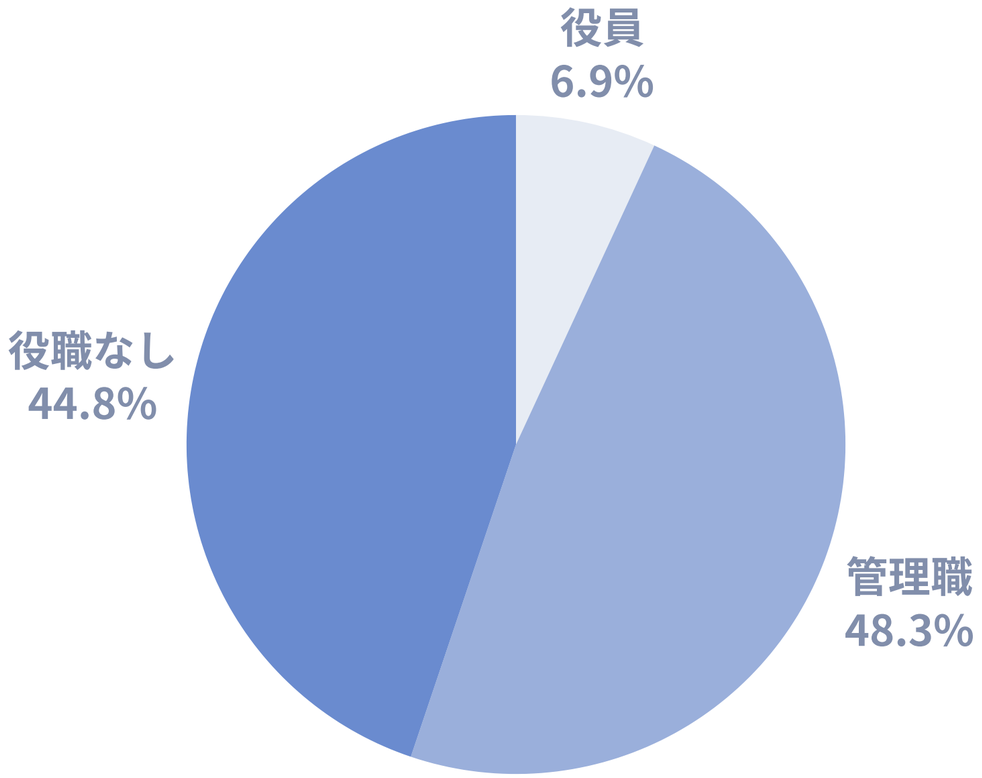
(年齢)



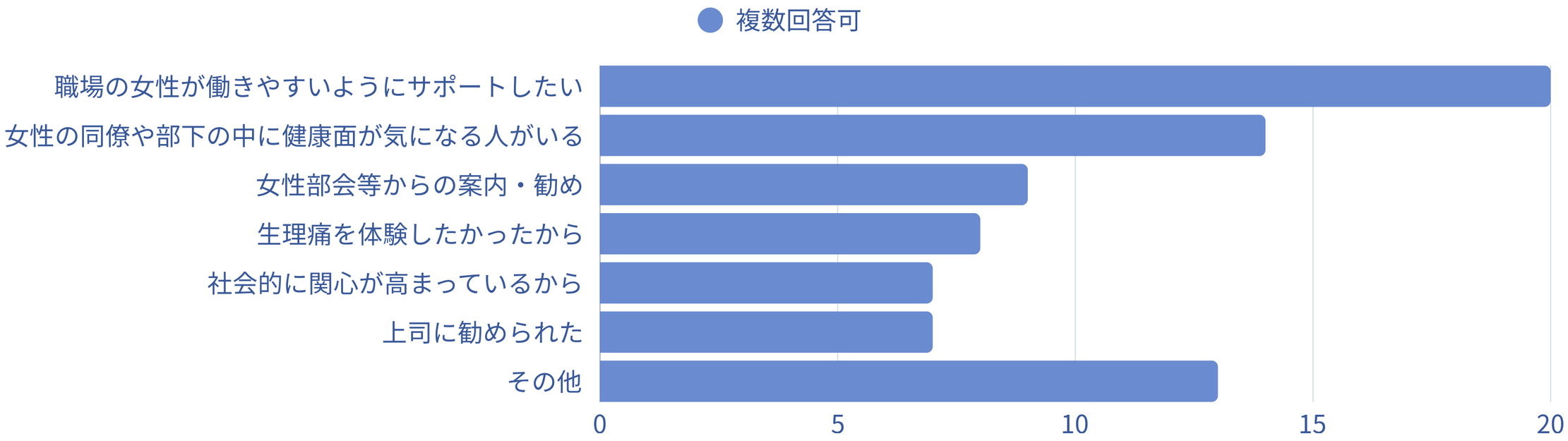
(性別)



属性 (役職)



参加の理由

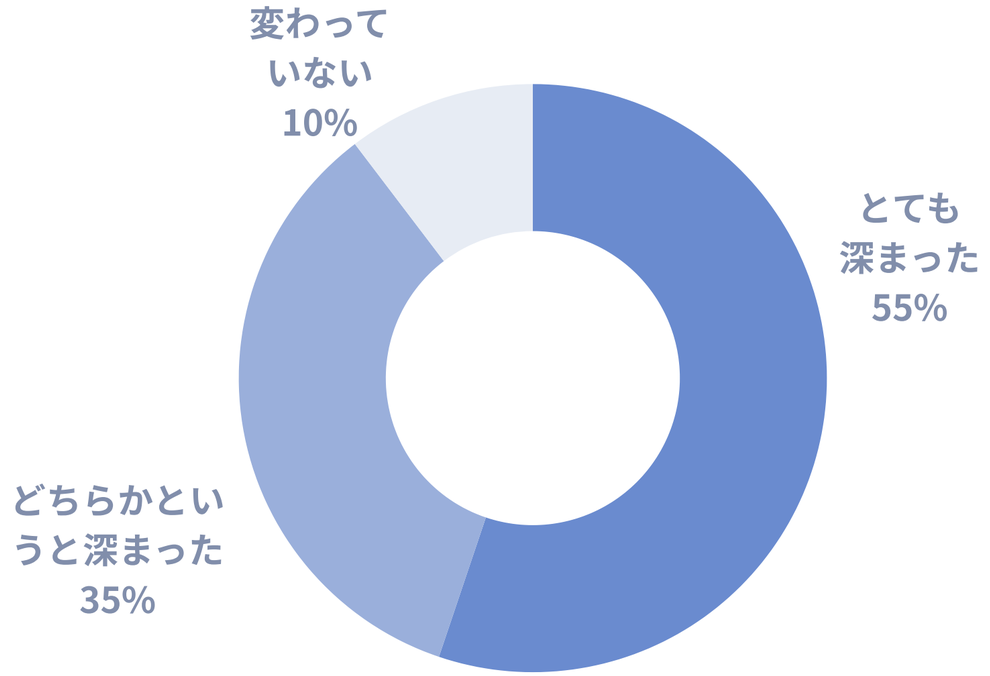


周囲の人へのサポート意識の高さが窺える結果となった

月経に関する理解度

Q　生理痛体験セミナーを受ける前と受けた後で生理（月経）に関する理解度に変化はありましたか。

理解がとても深まった	55%
どちらかというと理解が深まった	35%
どちらかというと理解度は変わっていない	10%



ほとんどの参加者の理解が深まった結果となった

月経に関して新たに得た知識（フリーコメント）

腹痛以外にも症状があることを知ってもらえるだけでとてもありがたい。

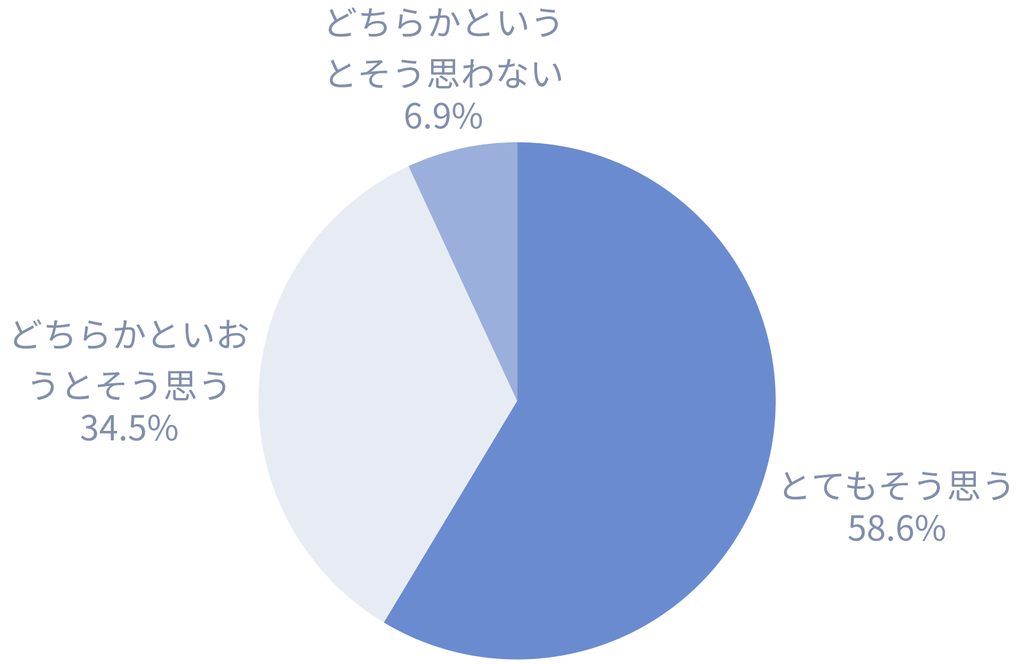
生理についての理解が深まったというより、男性と女性の認識の違いについて理解が深まった。

人により痛さを感じる程度が違うので、「困っている＝病気」という認識を持ち、周囲の人には対応したいと思います

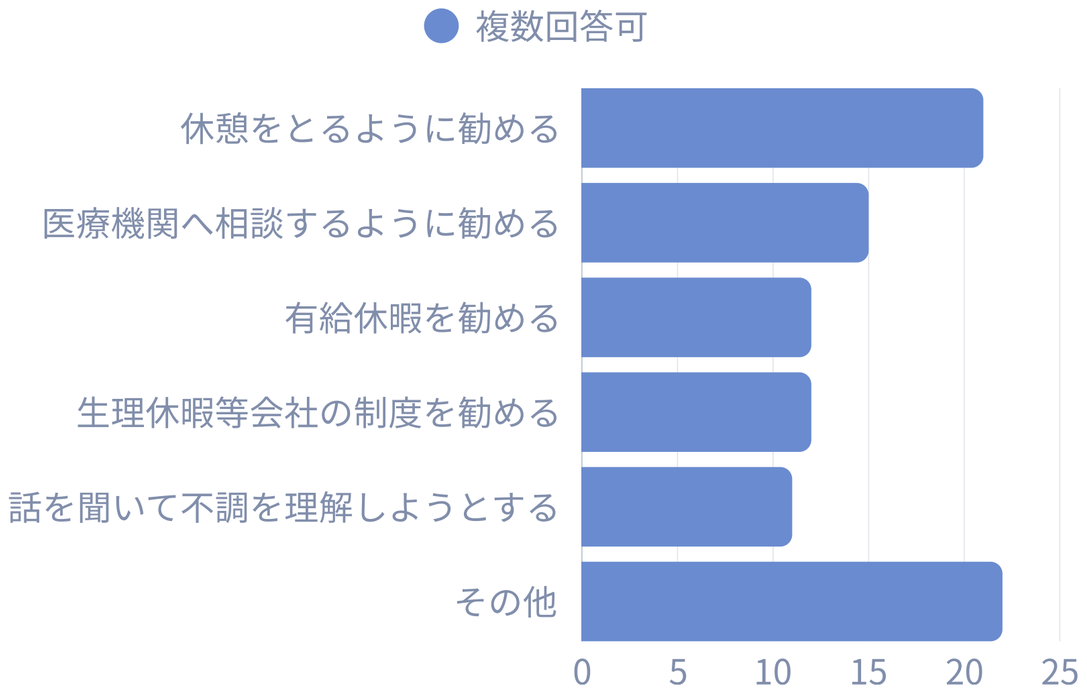
女性同士の方が言いづらいなどは参加しないと気づけませんでした。

月経に関して他人の意見を初めて聞くことができたが多数

本研修を通じて、今後の接し方や行動を変えるきっかけになったか



月経で悩んでいる人に対して、どのような配慮をしようと思いますか



グループディスカッションの主な意見

「生理痛による体調不良を安心して伝えられる職場にするために、明日から変えられることは何でしょうか？」

話しやすい関係性の構築、会社として取り組んでいるという姿勢を見せることで、言いやすくなるのではと考えています。

ミーティング等で今回の体験談を話して理解を深めて行きたいと思う。

コミニュケーションを取り、伝えやすい信頼関係と空気作りが大切だと思いました。

社内のコミュニケーションや体調について話しやすい環境づくりをこころがける。 話題にすることに抵抗を持たなくていいと知ったので。

男性陣がこの話題に触れる機会を設けたい。

体調不良を言い出しにくそうな社員に対して寄り添う気持ちを持って接する。

グループディスカッションの主な意見

**「業務中に生理痛による体調不良の申し出があった場合の対応方法」で人員的に余裕がない時でも、
実際にあなたが職場で実行できそうなことがあれば教えてください」**

本人に意思確認をしてどうしたいか要望を聞く。1人抜けても大丈夫なように仕事の事前準備や情報共有をしっかりしておく。

バックアップ体制の強化

どういう対応をするにしても早め早めに状況を知る必要があるので、まずは報連相を徹底する。言える雰囲気を作る。

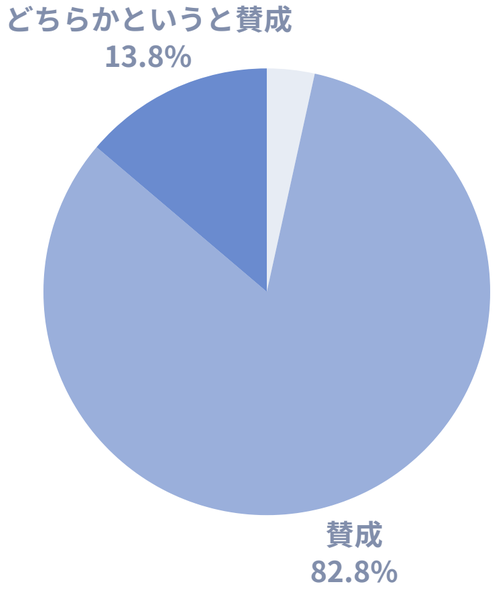
現場全員で乗り切る、クライアントにも理解を求める。

本人から状態を聞きどう対処すべきか？一人一人状態は違うかと思います。本人の意思意向に沿って細やかに対応していくことがよいと思います

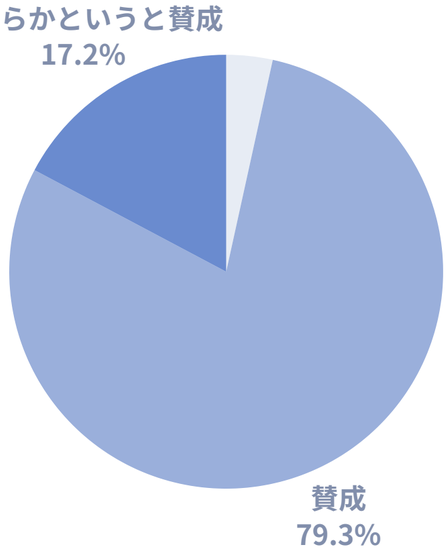
現場メンバーに情報共有をしておく。もしくは誰が見てもわかるように資料を整理しておく。

会社への期待

Q　会社として、女性特有の健康課題について積極的に制度を整えたり、施策を実施したりすることに対して、あなたはどう思いますか。



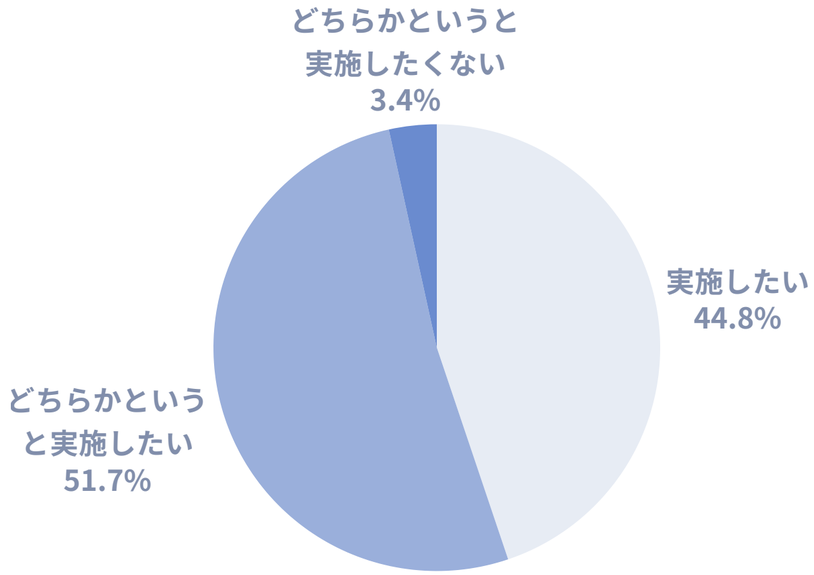
Q　今回の研修を踏まえ、不調を抱える従業員が婦人科受診しやすい環境づくりを会社として進めることに対してあなたはどう思いますか。



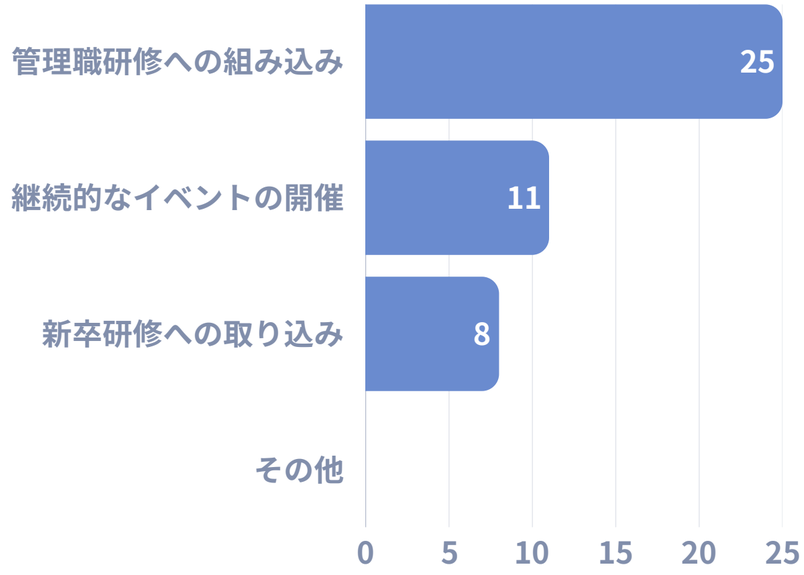
男性社員もいる中で、平等性が見いだせないという意見もあった

継続実施への推奨度

Q　会社として生理痛体験研修を
継続して実施すべきだと思いますか。



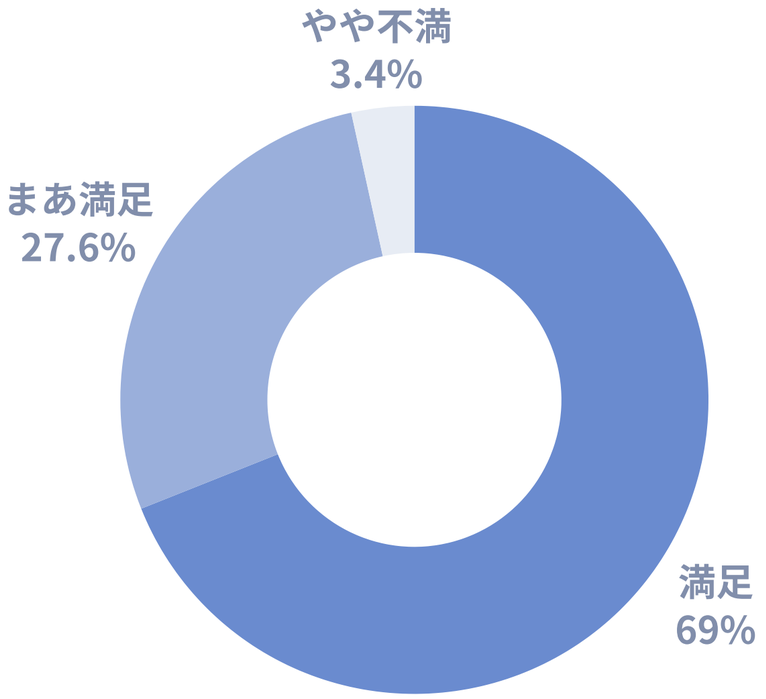
Q　どのように実施するのが良いと思いますか。



セミナーの継続開催や管理職研修への取り込みの推奨が多数

セミナー受講の満足度

Q　生理痛体験セミナーの満足度を教えてください。



・男性にも理解が深まったと思う

・こういうセミナーがあることで理解してくれる人が増えると思うととても安心しました。

・業務の一環とはいえ参加者全員が何とか環境を改善しようとしているのが体感できて良かった。

・想像以上に関心が高く、若手社員が「こんなに考えてくれていると思わなかった」と満足そうにしていたのを見て安心できました。

・男性側から、相談されてもどうすればいいのかわからないと意見が出たので、こちらからも休みたいなど意思表示することが大切なんだなと思い、お互いに歩みよることが大切なんだなと言うことがわかりました。

最後まで閲覧いただき
ありがとうございました!

関舞協　女性部会

関舞協
KANBUKYO
関西舞台テレビテクノ＆アート協同組合